

人づくり まちづくり 情報誌

No.

71

令和2(2020)年
3月15日号



あくていぶ



わがまちたかつき
切り絵紀行

「鷺打橋をバックに」唐崎北

切り絵 作：生地 高芳(高槻市在住)

特集

インターネットと人とのかかわりあい

「あくていぶ」は行動的、活動的な心と心のふれあいを求めて名づけられました

インターネットと人権侵害

インターネット～多様化する人権課題～ 消せない！考えようその書き込み

令和元(2019)年12月13日(金)～14日(土)の2日間にわたり、高槻市生涯学習センターで「人権を考える市民のつどい」を開催しました。

今年度は近年トラブルが急増しているSNSについて取り上げました。特別展「知っておきたいインターネットと人権の話」では、インターネットをツールとして様々な人権課題があることをパネルと映像で紹介し、両日で約470名の方にご来場をいただきました。



▲特別展「知っておきたいインターネットと人権の話」

展示場では、誰もが加害者にも被害者にもなり得る事例や、子どもにスマホを持たせるときの約束事の事例などを親子で興味深く見入る姿が見られました。

講演会

「インターネットと人とのかわりあい」

～突然僕は殺人犯にされた～



▲スマイリーキクチさん

1972年、東京で生まれ、芸名の由来はグチらず笑っていれば何とかなると「スマイリーキクチ」。漫才や芸人、タレントの仕事をしています。今回は、ネットは便利な反面、いつだれが誹謗中傷の的となり、被害にあうかわからない怖さがあることから、デマの危険やネットの

炎上事例、それらの注意点やトラブルの対処のお話をされました。

ある日突然ネット上で殺人犯と書き込みをされ、それ以降の10年間、笑顔を届ける芸人から、殺人犯の汚名を着せられた困惑と、苦悩の毎日に変わりました。一度ネット上にあげられてしまうと、「デジタルタワー」といって、一旦拡散されたものは消すことができない(スマイリーさんは1999年2ちゃんねるで「人殺し」や「コンクリート

残忍事件の犯人」など掲示された)、何度も自分で消そうとしたが、匿名で書き込むので犯人が特定できません。自分への殺害予告のみならず、身近で大切な人にも被害が及び、警察にも何度となく足を運び相談しましたが、事件ではないと相手にされず、9年間かけて証拠を集めることに時間を費やされました。

スマイリーさんは、「この経験は、いわばインターネットの負のサンプル。仕返しや自殺も脳裏をよぎったが、生きて、自分が幸せになることがネット中傷を続けてきた人たちへの、最大の仕返しになると思い、生きてデマと闘ってきました。だけど、親の知らないところで子どもが加害者や被害者になることがあり、耐性のない子どもがネット中傷で命を落とすなんて、あってはならないことだと思います」と話されました。

言葉は人を殺すことも生かせることもできる、コントロールすることで励まし、勇気づけることもできる。SNSの時代、正しくインターネットを使い、平和につながっていくようにと願いました。

参加者の感想

- * 身近な問題を体験者がお話しされることで、頭と心に残ります。
- * 知らないうちに自分たちの人権が侵されていることを思い知らされました。
- * 情報リテラシー(情報活用能力)の大切さを改めて認識することができました。

人権啓発作品を募集しました

令和元(2019)年7月から10月にかけて募集した人権啓発作品は、市内小中学校、一般から作文の部595点、標語の部1,622点、絵画の部487点、計2,704点の応募があり、11月5日(火)に行われた作品選考会において、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、佳作が選定され、12月13日(金)、14日(土)の2日間展示ホールに入選作品を展示しました。

令和元(2019)年度絵画の部最優秀賞作品▶



展示作品を見て、学校生活を通し、友だちと日々を接している中で気づいた、いじめはいけない事、人権を大切になど素直で正直に思った作品の数々に私たちはハッとさせられ、大切なことを気づかされました。



▲高槻市長から表彰と副賞が授与



▲入賞者による高槻市人権擁護都市宣言

令和元年度人権啓発作品入選者一覧

作文の部

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	伊藤 初音	偏見	第一中学校1年生
優秀賞	野口 実咲	「ま女のたつきゅうびん」を読んで	五領小学校2年生
優秀賞	石原萌々子	他者理解	第八中学校3年生
優秀賞	齊藤 楓	体験して考えたこと	第八中学校3年生
佳作	▶安藤菜夏(桜台小学校6年)▶黒津香乃(桜台小学校6年) ▶木村百花(五百住小学校5年)▶島田美海(五百住小学校5年) ▶平井沙由梨(五百住小学校5年)▶松井彩里(第七中学校1年) ▶小林菜由奈(第八中学校3年)▶田中千晴(五領中学校1年) ▶山手里紗(城南中学校2年)▶津波古星空(阿武山中学校2年)		

標語の部

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	立田 心晴	目指すのは 一人一人が工夫して築いていく 差別とへん見 ゼロの世の中	真上小学校6年生
優秀賞	大淵 愉生	自分だけ善ければ それでいいのかな?	磐手小学校5年生
優秀賞	安藤 彩乃	なりたいな! 他人の痛みの分かる人!	松原小学校5年生
優秀賞	石井 美空	国と国 顔と体はちがうけど 心かよわせ支えあう	真上小学校6年生
優秀賞	柴尾 若子	わかるやろ それってあかん やめようや	北日吉台小学校 3年生
佳作	▶小野心響(磐手小学校5年)▶金子紗菜(如是小学校4年) ▶郭 穎琳(川西小学校6年)▶野田さくら(川西小学校6年) ▶安藤凜香(桜台小学校4年)▶田中満月(桜台小学校4年) ▶美馬ゆめか(若松小学校1年)▶佐野せあら(若松小学校5年) ▶重松 滯(北日吉台小学校3年)▶登川千鈴(第四中学校2年)		

絵画の部

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	中村明香里	友だち大すき	北日吉台小学校2年生
優秀賞	武田 和香	平和への願いをこめて	阿武野小学校6年生
優秀賞	西島 歩美	風にふかれる羽とひまわり	西大冠小学校6年生
優秀賞	平山 紗愛	キミならどうする?	津之江小学校5年生
優秀賞	秋吉 里香	暴力・暴言反対	北日吉台小学校4年生
佳作	▶加藤つかさ(阿武野小学校6年)▶高鍋結衣(阿武野小学校6年) ▶松田安未(阿武野小学校6年)▶山本紘輝(阿武野小学校6年) ▶河野 葵(津之江小学校5年)▶高田夏向花(津之江小学校5年) ▶高本廉介(寿栄小学校2年)▶土屋龍空(北日吉台小学校2年) ▶藤川佳純(北日吉台小学校4年)▶藤原 夢(北日吉台小学校4年)		

あちこち訪問



コープ・ラボ たべるたいせつミュージアム

大阪府和泉市テクノステージ3-1-3 TEL. 0120(031)302

■ 開館時間 10:00~16:00(入場は15:30まで) ■ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

コープ・ラボ たべるたいせつミュージアムは食の安全や、食育・たべるたいせつをテーマに、「食の安全」や「食生活と健康」の課題が見学・学習・体験できる施設です。

「食育ゾーン」は食べ物と体、世界の食文化の違いや、生産者の苦労を理解することで食と命の大切さが楽しく学べます。

「食の安全ゾーン」では、検査ごとに展示解説があり、平日は実際に検査している様子を見ることができます。難しい話はクイズや模型を使って、小学生にもわかりやすいように紹介されています。



▲館内は色鮮やかな模型がいっぱい！
小学3年生から楽しめるクイズも
たくさんあるよ



▲口から食べ物に
なった気分GO!

5年分の「ウンチ」模型は▶
意外に…(大きい)?



マスコットの愛らしい「とまとちゃん」と「ラボくん」、そしてとまとちゃんにそっくりなフロアガイドさんに親しみを感じながら説明を受けました。映像や展示物を見たり触れたり、興味いっぱいの楽しいミュージアムでした。

家族の食事を用意する私は、食の安全が一番気になる場所でした。ここではアレルギーの原因になるもの、農薬、微生物、放射性物質、等々の検査をきめ細やかに実施されています。実際に検査されている様子も広い窓越しに見ることができ、時には検査員さんにその場で質問ができる等、工夫が凝らされていました。

いつも安全な食品を安心して美味しく頂くことができる。
感謝でいっぱいです。

心から、いただきます！ ごちそうさま！

参加者の感想

は何?」とワクワク...

扉が開いた瞬間から、カラフルなパネルや椅子が目飛び込んできました。クイズやゲームをしながら進む度、「次

毎日三度、忘れずきっちり取る食事なのに、知らないことばかりで、どんどん質問してしまいましたが、フロアガイドさんは丁寧に答えて下さいました。自分自身がどれだけ「食」について深い関心があったのか気付かされました。

子どもだけでなく、大人も一緒に楽しめる空間で、この見学以降の食事は、食べ物や作った方に感謝しながら一口ずつ味わっています。

おなか一杯、幸せ...こんな豊かな気持ちの裏に、たくさんの方の努力や工夫があったことを改めて思い知りました。食べ物がない時代は「食べることは生きる」と育ちましたが、この飽食の時代、当たり前に好きなものを頼る娘に、安全な食べ物を食べられるありがたさを伝えていかなくてはと思いました。

「食」の歴史に、O・157や産地偽装は記憶に新しいが、チェルノブイリの放射能汚染食品や、公害汚染(ヒ素ミルク等)は、その後どうなったんだっけ? 消費者の目もしっかりしないと!と再認識しました。

口から食べ物になった気分が入っていくと、体内を食べ物を通る様子が描かれていて出口の穴へ...ボタンを押したら、「フュー」という快いオナラの音とともに体外へ。なんと目の前には巨大なウンチが(笑)。これは子どもの心をつかむこと間違いない! 目で確かめて、身体を使って学んで、楽しい食育でした。

人生の出発点に立つ子ども

高槻市人権まちづくり協会理事
(元三島人権擁護委員協議会高槻地区委員) 五十島 順子

人は人の中で育つといわれ、「絆」「つながる」という言葉が流行語になっています。社会が進展し少子化が進む一方、子ども社会では、一緒にゲームやスマホしながら群れていても、一人ひとり「個化」しているのが気になります。子ども社会には、子ども同士で切磋琢磨して育つ機会が減ってきているといえます。一方、虐待やいじめ、離婚等による家事の負担に起因した学力不振など、子どもにとって生きづらい世の中になってきている現状があります。

人権擁護委員として「子どもの人権」を担当した時のことが甦ってきます。

寄せられた相談の中には、緊急を要するものもあります。特に命にかかわる電話相談は、本当に緊張します。なるべく電話を切らないように話を聞き、言葉を選びながら一回限りの相談にせず、日を替えて何回もやり取りをします。相談者の気持ちに切実さや刺々しさがなくなってくれば、少し気が休まります。相談者からの「もう大丈夫です」という言葉を最後に、気がかりでもこちらからは連絡しません。

ミニレターによる相談では、「よく相談してくれましたね」と相談者の勇気と決断を評価します。一人で悩むと、深刻な状況からなかなか抜け出せないのですが、誰かに話すとトピラを開く第一歩になります。短い文面の中から、どんな小さなことでも相談者の人となりを読み取り、返信に盛り込みます。相談者との関係を築く第一歩です。さらに、相談者が自分に気付き、自信と誇りを持ってほしいと願うからです。また、親や先生に不満を持っているときには、成り代わってその人の気持ちを伝えることもあります。

子どもたちが深刻な問題を抱えて生きている相談に出会うと、そこには家族が夜も昼も働き、自分一人が家事をしていてつらいという事例や、自分の行きたい学校ではなく、近くのお金のかからない学校にしか行かせてもらえない等の事例があり、その裏に、格差や貧困の問題が生じている現状を見過ごすことができません。子どもの成長にとって、多少の格差は容認できるとしても、貧困だけはあってはならないと思います。

子どもの人権を守るのは、社会や大人の責任であると実感しました。「子どもの権利条約」(下記参照)が活きた条約となって、人生の出発点に立つすべての子どもが、のびのびと幸せに生きるスタートラインに立てることが願いです。

子どもたちには、どんな権利があるの？

子どもの権利条約って？

子どもの権利条約(「児童の権利に関する条約」)は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。



生きる権利

すべての子どもの命が守られること



育つ権利

もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療や教育、生活への支援を受け、友達と遊んだりすること



守られる権利

暴力や搾取、有害な労働などから守られること



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること

地域が元気でいきいきと

高槻市人権まちづくり協会は、市内公立中学校区ごとに地区単位会を設置し、市民が中心となって心豊かなまちづくりを目指し「草の根の人権啓発」に取り組んでいます。

三校区合同人権バス研修

令和元（2019）年11月14日、一中、二中、川西中、未組織中学校区地区単位会合同で奈良方面へフィールドワークに出かけました。（奈良五條新町～手作りハム工房「ばあく」～奈良県立同和問題関係史料センター）

当日は奈良県立同和問題関係史料センターの所長、奥本さんにご同行いただき、五條新町の生活文化と部落差別問題をテーマにフィールドワークに出かけ、お昼は「一頭の豚の命を大切にいただく」手作りハム工房「ばあく」さんで交流を深めました。午後訪れた同和問題関係史料センターで、奈良県内で発見された史料に基づいた「部落史の見直し」の解説をいただき、参加者からの質問や意見を交わすなど有意義な時間を過ごしました。

令和元年度三校区合同人権バス研修の実施

中学校区地区単位会名（合同）	主な視察先
三中、六中、冠中	敦賀ムゼウム（福井県敦賀市）
四中、八中、九中	加古川刑務所（兵庫県加古川市）
十中、城南中、芝谷中	中江藤樹記念館（滋賀県高島市）
一中、二中、川西中、未組織（柳川中、五領中）	奈良県立同和問題関係史料センター（奈良県奈良市）
七中、如是中、阿武野・阿武山中	びわこみみの里（滋賀県守山市）



▲命に感謝して食事をいただく「ばあく」



▲吉野川をバックにフィールドワーク

みみの里の参加者の感想から

- * 聴導犬って？ 研修に行くまで聴導犬の存在を知らず、盲導犬の間違いかと思って参加したら自分が間違っていた。
- * 聴導犬、あんな賢い犬がいるとはびっくり。
- * 個人ではなかなか行けないところに行けてうれしい。来年も元気に参加したい。



▲一中単位会ふれあいアップ講座・満員御礼



校区名	主な活動内容
一中	日時 令和元年11月21日（木）ふれあいアップ講座 テーマ 嘶家俳優四十代最後の親不孝 参加者 74名 共催 城内公民館
二中	日時 令和元年11月14日（木） テーマ 三校区合同人権バス研修（奈良方面） 参加者 11名
三中	日時 令和元年11月26日（火）映画会 テーマ ケアニン ～あなたでよかった～ 参加者 68名 共催 高槻市教育委員会 協力 如是中学校区地区単位会
四中	日時 令和2年1月31日（金）ふれあいアップ講座 テーマ 変わる「お墓事情」～令和へ！～ 参加者 66名 共催 富田公民館

校区名	主な活動内容
六中	日 時 令和2年2月13日(木) ふれあいアップ講座 テーマ アンガーマネージメント ～怒りで後悔しないために～ 参加者 36名 共 催 冠中学校地区単位会・南大冠公民館
七中	日 時 令和元年7月25日(木) ふれあいアップ講座 テーマ 三箇牧地域再生ものがたり 参加者 30名 共 催 三箇牧公民館
八中	日 時 令和元年10月16日(水)・18日(金) ふれあいアップ講座 テーマ いのちの大切さ ～こころの豊かさ、人との出会いで学ぶ大切な心 参加者 155名 共 催 磐手公民館
九中	日 時 令和元年5月31日(金) ふれあいアップ講座 テーマ いのち・こころ・いやし ～悔いのない人生を送るために大切にしたいこと～ 参加者 96名 共 催 北清水公民館
十中	日 時 令和元年11月9日(土) 第十中学校区人権講演会 テーマ 命の授業 ～捨て犬・未来のものがたり～ 参加者 300名 共 催 第十中学校校区会議
阿武野 阿武山中	日 時 令和2年1月23日(木) 人権推進委員研修 テーマ 防災・神戸港震災メモリアルパーク 参加者 11名
城南中	日 時 令和元年8月24日(土) ふれあいアップ講座 テーマ 認知症の向こう側にある心～おじいちゃんから孫へ伝えてくれたもの～ 参加者 66名 共 催 春日ふれあい文化センター
川西中	日 時 令和元年11月24日(日) ふれあいアップ講座 テーマ 子どもの、おとなの“ひきこもり”を考えよう 参加者 17名 共 催 芥川公民館
如是中	日 時 令和元年11月26日(火) 映画会 テーマ ケアニン ～あなたでよかった～ 参加者 68名 主 催 高槻市教育委員会 協力 第三中学校区地区単位会
冠中	日 時 令和元年9月12日(木)～23日(月) テーマ 第9回ミニ平和展 参加者 700名 主 催 第六中学校区地区単位会・冠コミュニティセンター
芝谷中	日 時 令和元年11月10日(日) ふれあい文化祭 テーマ ミニ平和展 ～世界の飢餓問題～ 参加者 200名 主 催 日吉台地区コミュニティ連絡協議会



▲九中単位会ふれあいアップ
「いのち こころ いやし」



▲阿武野・阿武山中単位会 神戸港震災メモリアルパーク視察



社員研修を実施しました

令和元(2019)年9月18日(水)、福知山市防災センター(京都府福知山市)で社員研修を行いました。

当センターは全国的に珍しい水害体験に重点を置いた防災体験館です。歴史を紐解くと、高槻が水害を繰り返したのと同様、由良川を抱える地域柄から、水害対策コーナーに力が入っているのが特徴です。施設周囲は、防災機能を持たせた「防災広場」が開放され、普段は遊び場として、災害時は土のう作成ヤードになる砂場や、下水管直結型トイレになるマンホールトイレも見られます。当日はセンターの河田さんにご指導頂き、スマホを使った脱出方法など楽しくてためになる防災体験や、また消防署の最新の指令室で緊急出動の様子や消防車などを見学し、ハイテクな設備と隊員の素早い行動や工夫に驚きました。



▲六中・冠中単位会合同 第9回ミニ平和展「命の尊さ」

アンダーパス体験▶
水没した車から
脱出できる?



人権講演会 心の豊かさを求めて

テーマ 地域でいちばんおせっかいなお医者さんが語る
「人生最期の幸福 ～生きる覚悟と死ぬ覚悟～」

機能強化型在宅療養支援診療所 渡辺西賀茂診療所 所長 渡辺 康介さん



日時 令和2年6月6日（土）14時～（開場13時30分）

会場 市生涯学習センター 2階多目的ホール

定員 300名（手話通訳・筆記通訳あり）・保育あり（要申込）

高槻市人権まちづくり協会では、
人権講演会・人権研修の講師紹介やパネルの貸し出しなど
人権啓発のサポートを行っています。（下記は実施テーマ例）

**企業に
おすすめ
テーマ**

- ・アンガーマネジメントを身につけよう！（コミュニケーション力）
- ・人権問題入門
- ・「障害者差別解消法」って何？

**学校関係に
おすすめ
テーマ**

- ・こどもの安心・自信・自由 ～こどもの力を引き出す支援のあり方～
- ・一人ひとりを大切にする学校・学級づくり（人権意識の向上）
- ・いつか花咲く時が来る ～信じて待つことの意味～
- ・おとなが笑った こどもが笑った “みんなが笑った”

**地域での
おすすめ
テーマ**

- ・コミュニケーション力で友達増やして人生を豊かに
- ・むすびあい 心がかよう 地域の輪 ～いつもこころに逢・ラブ遊～
- ・生と死を学ぶ ～人生の上手な終い方～
- ・シニアアライフを楽しむ ～終活と生前整理～
- ・こどもの、おとなの「ひきこもり」を考えよう！

広島平和記念公園に 千羽鶴を 奉納しました



令和元（2019）年12月20日
 （金）、第34回平和展会場や各地区
 単位会から寄せられる平和の願いを
 こめておられた千羽鶴は、世界中か
 ら届けられた千羽
 鶴とならんで、広
 島平和記念公園に
 奉納されました。



浦堂認定こども園から
寄贈された千羽鶴

夜桜ライトアップご案内

春日町東部排水路沿いの側道に咲く桜並木を、手作り燈籠でライトアップします。

- **開催期間** 令和2年3月26日（木）～4月5日（日）
 桜の開花に合わせて変動
- **開催場所** 高槻市春日町22-2
 春日保育所横、東部排水路沿い
- **ライトアップ時間**
 期間中の19：00～21：00
- **主催** 桜を見る会実行委員会・城南中学校区地区単位会



編集後記

今年度、人権週間記念事業として「インターネットと人権侵害」についてのパネル展や、スマイリーキクチさんの講演会が開催された。改めてインターネットの便利さと、反面陰湿ないじめや未成年者が犯罪に巻き込まれる事件などが多発している怖さを知った。使い方によってプラスとマイナスの部分が背中合わせで、インターネットに乗り遅れた私についてはいけない。

先日、中学一年生の孫と百人一首をすることになった。「歌の言葉や意味がわかる？」と聞くと、「パソコンで調べているから」とのこと。自分用のパソコンを持っているようだ。思わず「自分の写真とか、人を傷つける言葉は、絶対発信したらダメよ～」と…。それしか言えないバアバだった。